つきかげ

第　138　号
（令和４．１．１）

信　楽　寺
〒690-0052
松江市竪町88
TEL(0852)21-1589
FAX(0852)21-1590
郵便振替口座番号
01450－3－13538



11月3日十夜法要には多数のお参りがありました。



新たに信楽寺ホームページを開設致しました。慣れないもので、なかなか更新が出来ていませんが、ぼちぼち慣れていきたいと思います。

HP

法然上人 浄土宗 開宗850年 お念佛からはじまる幸せ 2024

謹賀新年

令和四年元旦

信楽寺住職　楽誉広平
副住職　強誉量介
総代一同



今年の修正会（初参り）新年賀会は

コロナウイルス感染予防の為中止とします。修正会は寺族（住職家族）でつとめます。

正月三ケ日は本堂正面を開けておりますので、お参りお待ちしております。

目次

20年後30年後の信楽寺を考える　住職　楽誉　広平　2頁
聖徳太子一千四百年大祭について　3頁
あるパラアスリートの言葉　有馬　智子　4頁
日曜閑談　サント・ドミンゴ②　瀧川　正久　5頁
写真で振り返る令和3年後半行事　6頁
追善寄付・寄贈図書・令和四年年回表・年会費について　7頁
令和4年　行事予定・定例行事ご案内・編集後記　8頁

20年後30年後の信楽寺を考える

住職　楽誉（ぎょうよ）広平

「禍福は糾（あざな）える縄の如し」と申します。今年こそコロナウイルスの収束がすすみ、元通りの生活に近づいていく事を信じたいと思います。

総本山知恩院が発行します「知恩」12月号に、浄土宗僧侶であり、ジャーナリストである、鵜飼秀徳氏が「20年後のお寺のあり方を考える」と題して発表され、お寺の於かれている危機的状況についての講演内容が掲載されていました。

その内容を抜粋すると、「現在神社の数、8万1000社・お寺が7万7000ヶ寺・歯医者さんが約7万、コンビニ5万5000店、全部の学校の数が約3万」だそうです。いかに神社・仏閣が多いかと言うことです。

しかし、その7万7000ヶ寺あるお寺の中で、住職が居るお寺は6万ヶ寺、残る1万7000ヶ寺のお寺は、住職が不在の無住職のお寺であり、今後この傾向は増える可能性が高いのだそうです。現に私も天神町の来迎寺様を兼務している通りです。

今後お寺は増える時代では無く、20年後の2040年には住職のいるお寺は5万ヶ寺と1万のお寺が減るのは避けられないと予測されています。

「浄土宗の平成29（2017）年の調査では、46％が「後継者は決まっていない」と答え、「決まっていると」答えたのが、52％でありました。このままでは46％のお寺が消えゆく危機にある」と。

お陰様で今の所信楽寺は跡継ぎがあり、本人も副住職として一日も早く京都から帰りお寺を護っていくことを積極的に考えてくれています。私自身は二人体制となり信楽寺・来迎寺を護寺していくことの未来図が想像つきませんが、今まで以上の教化活動・寺院運営が、二倍にも三倍にもなるように、皆様方のお力添えを賜りたいと思います。

鵜飼先生はこれからの20年、各お寺、「生きるも死ぬも、もはやそれぞれのお寺次第です。」と続けておられます。一刻も早くその対策をとる必要があると。

その為にお寺は今何をすべきか、先生は「兼業型寺院のすすめ、要は社会との接点が常にある寺院をめざす。また、お寺は泰然自若として、いろいろなことに挑戦すること。お寺の本分をわきまえた上で挑戦することが大事である」とまとめておられます。

考えてみると、先代は教師をしながら、二足のワラジを履いて、お寺を護ってきました。経済的にそうでもしなければ、お寺を維持が出来なかったのが現実でありました。

私は先代夫婦と同居を始めた若い頃、常に家族4人が顔を付き合わせ生活することに鬱屈としたものを感じていました。今自分がしなければならない事は他にあるのではないか、いっそどこか就職先を見つけて、忙しいときだけお寺の手伝いをすれば良いのではないかと、かなり子供達が大きくなるまで、迷いがありました。

還暦を目前とした今、同級生は定年を迎え、経済的・社会的に立場を変えざるを得ない話を聞く歳ごろとなりました。方や私はお寺一本でなければ出来ない経験を多く学ばせていただきました。そして、体が丈夫でさえあれば、今まで通りつとめさせてもらえる事への感謝の念に堪えません。

これからの10年20年世の中の変化の早さに、とてもついて行けそうにありませんが、永代供養が増えて、墓じまいが増える傾向にある中、責任をもって永代供養（お寺が存続するかぎり供養をします）をお護りするお寺として。

30・40年後安心してお参り出来るお寺を、立派に副住職が継いでくれるものと、若い力を信じ、挑戦をしていく信楽寺でありたいと考えます。

聖徳太子像50年ぶり公開

ゆかりの信楽寺 あすから

松江 写経体験、限定朱印も

聖徳太子にゆかりがある松江市竪町の信楽寺が22日から25日まで、所蔵する太子像を50年ぶりに一般公開する。父である用明天皇の病気の治癒を願う様子を表した像とされ、住職の内田広平さん(59)は「太子が願ったように、一日も早く新型コロナウイルスが収まることを祈りたい」と話す。（片山皓平）



50年ぶりとなる聖徳太子像の公開をPRする住職の内田広平さん。後方の聖徳太子堂に像が安置されている＝松江市竪町、信楽寺

内田さんによると、像はもともと隠岐諸島にあり、松江藩主・松平直政が夢のお告げを受け、藩の作業場の守護として松江城下に運んだという。経緯は不明だが、その後寺に移された。

像は高さ約40㌢の立像で香炉を手に持つ。16歳の姿で「孝養像」と呼ばれる。

1877（明治10）年に再建された「聖徳太子堂」に祭られており、公開日は外から堂内に安置された像を見ることができる。

公開に合わせて、22日午後1時半から太子が制定に関わった十七条憲法の写経体験ができ、22、25の両日にはあんどんをともす。太子像を描く限定朱印のほか、寄付に応じて特製マスクや腕輪念珠などの記念品がもらえる。開帳時間は午前8時半～午後8時。

今年は太子没後1400年に当たる。太子像の公開は50年に1回だが、内田さんはコロナ禍で足を運ぶことをためらう人もいるとみて、来年の公開も検討する。

「山陰中央新報社」、朝刊、２０２１年７月２１日、２３面、地域、出雲（１版）

昨年は、大祭についての記事を地元新聞に掲載して頂いたお陰で
多くのお参りがあり、4日間賑やかな大祭となりました。

聖徳太子一千四百年大祭 ご寄付経過報告

この度は、コロナ禍の影響により、皆様の生活が困窮するなかにも関わらず、信楽寺・来迎寺のお檀家の皆様、また町内の皆様、業者関係の皆様など、多方面からのご協力によって、下記の通りご寄付金額を賜りました。

誠に感謝に堪えません。

太子堂の工事はいよいよこれから、三月から約三ヶ月かけ、大祭の七月までに間に合う様に修繕工事に取りかかります。

また、夏の大祭（7月22日～25日）の時期にコロナウイルス感染症が落ち着いていれば、50年に一度の大祭を祝う法要・イベントをしたいと考えております。

どうぞ今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、寄付金につきましては、大祭終了まで寄付金を受け付けております。引き続きご理解賜りますようお願い申し上げます。

聖徳太子1400年大祭 ご寄付経過報告

令和3年12月1日現在

ご協力いただいている件数

300件

合計口数 **818口**（1口 5,000円）

合計金額 **4,090,000円**



前回1350年大祭集合写真

あるパラアスリートの言葉

有馬　智子

コロナ禍により1年延期された東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。2年前から現場で働くことが決定していた私にとって、開催か中止か、有観客か無観客か、ギリギリまでやきもきさせられる一大イベントがようやく終わり、大きな肩の荷を下ろした気持ちです。

現場に入るスタッフはとにかく体調管理に気をつけ、数日おきにPCR検査を実施しました。刻々と変わる状況や対応策に追われ、早朝から深夜過ぎまで緊張し続けた2か月間でした。これまでもスポーツの現場で働いた経験はありますが、規模も注目度もケタ違いで、スタッフも各国から集まります。ステイホームで自宅に引きこもっていた期間が長かっただけに、久々に「チームで働いている！」と実感しました。

大変なことは多々ありましたが、実際に競技を目にしてアスリートの生の声を聞けたことは大きな喜びとなりました。特にパラリンピックです。恥ずかしながらパラリンピックは、これまでほとんど見たことがありませんでした。担当した競技も馴染みがなく、事前にルール、過去の映像、選手の成績を勉強したぐらいです。

こうして臨んだパラリンピックでしたが、まず競技自体をとても楽しめました。日本チームが活躍したこともあり、テレビを観てそう感じた方も多かったと思います。現場に設置してあるテレビモニターで他会場の競技も観戦できたので、車イスバスケット、車イスラグビー、ボッチャ、ゴールボール…パラスポーツの面白さを体感できました。

さらに、パラアスリートが語る言葉の数々にも考えさせられました。競技を終えたある選手が、取材対応をしていたときです。記者から「同じ障害を持つ人たちに何かメッセージを」と問われて、こう答えたのです。「私が伝えるメッセージは誰に対しても同じです。夢を持ちつつづけること、夢に向かって努力し続けること。障害のあるなしは関係ないんです」。ハッとしました。もしかして私は、パラアスリートを「障害があるのに頑張っている人」とバイアスをかけて見ていたのではないか、と思ったからです。彼らは「障害があるのに頑張っている人」ではなく、「頑張っている人」でした。これは私にとって大きな気付きとなりました。

2019年の夏に母が、2020年の夏には父が亡くなりました。両親は私がオリパラの現場で働くことが決まったとき、とても喜んでくれましたが、残念ながら今回の経験を話すことは叶いません。特に父は、定年退職後に勉強して介護ヘルパーの資格を取得し、ずっと地元でボランティアに携わっていたので、私がこのパラアスリートの言葉を伝えたら何と言っただろう、この夏の経験を肴にしてお酒を酌み交わしてみたかったな、と思わずにいられません。



ご両親の法事にて：筆者は前列の左から２人目

日曜閑談　サント・ドミンゴ②

瀧川　正久

（三）最古にして最新

サント・ドミンゴ大学は、最近できた新しい大学を含めドミニカにある四つの大学の一つで、大使公邸より1キロ位の近距離にあります。公邸の庭（やや高台になっています）から半分位は見渡せます。

学生問題は、今や世界的ですが、この大学でも左翼系の学生が圧倒的に多く、大学当局と先生方は力弱く、勢い学生対警官という対立が日常事と化しております。日本の警察と異り、当国の警察は、銃を直ぐに使います。タンクの出動することもあります。一方、先年の内乱以来、多くの武器が民間に秘匿され、巷に流れております。家の中でお茶を飲んでいる時でも、爆弾の破裂音や銃声（空砲とは限りません）が聞えて来ることが珍しくありません。最近では、私は驚かなくなりました。

先日、日本人のお客さんをお連れして、市内見物をした際、このお客さんは。サント・ドミンゴ大学を一見したいといわれ、近くまで行ったのですが、途中で運転手と私のボディ・ガードの警官とが言い争いを始め、車も停ってしまいました。警官は、外交官の車は、特に襲われる心配があるからやめろといい、運転手は日本人に対しては危害を加えることはないから、大丈夫だといっているのでした。私の判断では、この場合は警官が同乗していることが、むしろもめごとの原因になりうるのだが、政府の命令の下に働く彼（良い人間です）の立場も考えて、お客さんに中止方をお願いした次第でした。サント・ドミンゴ大学は、今や最も尖端的な大学でありましょう。何だか今年は日本の大学は静かでしたね。

（四）日曜亭主

日曜日には、大使館事務所は閉めますので、公邸に電話が多くかかって来ることが多くあります。公邸使用人も休ませるので、家族のものが電話当番をします。

17歳になる娘（純粋の日本の学校の教育を受けたことがない）が言葉が達者なので、応対に出ることが屡々ですが、ある日。

パパ、テイシ・サント・ドミンゴって何のこと？ととぼけたことを聞きます。私にもよく呑みこめなかったので、代って電話口に出て、やっとわけが判りました。電信局からの電話による公電受信の連絡でありました。電話局の仕事はアメリカのITTやRCAが請負っているものが多く。電信略号TAISI（大使）SANTO DOMINGOをテイシと発音しているのです。

サント・ドミンゴの字義は、聖なる日曜日ですが、亭主サント・ドミンゴとはよく申してくれました。

（注　筆者はドミニカ大使）

1970年頃筆者ドミニカ大使の時に書かれたものです。



瀧川家家族写真

写真で振り返る令和3年後半行事





8月4日松江組のご寺院様方とお盆の施餓鬼法要をつとめました。

秋の彼岸法要を9月23日につとめました。おつとめの後出雲市円光寺様のお世話でクラリネットのアンサンブル演奏を聴き、芸術の秋を堪能しました。



十夜法要

表紙のように、間隔を保ちながら本堂一杯のお参りがありました。お参りが戻りつつあることを嬉しくも、安全対策を見直す機会になりました。



太子堂回廊の松板の取り外しをしました。この材を使い腕輪念珠を製作します。ご寄付の記念品として準備しております。



12月5日今年最後の墓地清掃と浄焚会（お焚き上げ）をいたしました。
この時期には珍しく穏やかな天気の下、多くのお参りがありました。





追善寄付

為	夫追善	金一封	施主　髙宮　豊美	為	父追善	金一封	施主　松近　隆之
為	父追善	金一封	施主　小田川貴宏	為	妻33回忌追善	金一封	施主　長沢　哲夫
為	祖父追善	金一封	施主　有田　　航	為	父追善	金一封	施主　内田　　仁
為	父追善	金一封	施主　勝平　政紀	為	夫1周忌追善	金一封	施主　大谷　宏子
為	夫生前戒名授与	金一封	施主　神谷　允子	為	母追善	金一封	施主　石田　　肇

寄贈図書

為　母追善	仏像の秘密　山本　　勉著	施主　田平　康子
ご本人寄贈	俳句集「銀　漢」	施主　石倉　俊紀（同級生）

「銀漢」より石倉氏作品

・背に白き傷ある真鯉花の下
・古都にゐて炎昼翳る時を待つ
・炎天下寺田屋浜をよぎる猫
・看取られる夢をみてゐて昼寝覚
・片口と井戸水をもて目高飼ふ
・海月にも動かぬ意思と動く意思
・下り貨車上りは客車冬の月
・粉雪を行きて深雪を帰りけり
・雪見酒宿の算盤七つ玉
・教会の床に迷へり冬の蜂

恥を忍んで住職の作品紹介

・櫨の実を通夜提灯照らしをり
・かくれんぼ家路気になる秋の夕
・水替えしナンキン3尾長閑なり
・春暖の人なき街の選挙カー
・検診終え妻は安堵の蓬餅
・笑顔なるトーチに写る夏の夕
・眠りから徐々に目覚めし寝釈迦かな

令和四年　年回表

一周忌　令和三年（二〇二一）亡
三回忌　令和二年（二〇二〇）亡
七回忌　平成二十八年（二〇一六）亡
十三回忌　平成二十二年（二〇一〇）亡
十七回忌　平成十八年（二〇〇六）亡
二十五回忌　平成十年（一九九八）亡
三十三回忌　平成二年（一九九〇）亡
五十回忌　昭和四十八年（一九七三）亡
百回忌　大正十二年（一九二三）亡
百五十回忌　明治六年（一八七三）亡
二百回忌　文政六年（一八二三）亡
二百五十回忌　安永二年（一七七三）亡
三百回忌　享保八年（一七二三）亡
三百五十回忌　寛文十三年　延宝元年（一六七三）亡

令和４年度年会費（維持費）納入について

令和4年度年会費（護持費）の払込用紙を同封しております。納入は6月一杯を納入期間としておりますが、1月17日からゆうちょ銀行の送金料金が改定され、現金で払込の場合、今まで掛からなかった手数料が納入金額にかかわらず、定額加算料金110円が払込人様に必要となりますので、ご負担をお掛けしますが宜しくお願い申し上げます。

令和４年 行事予定

行　事	期　日	時　間	場　所	備　考
新　年　会				
涅槃会	2月中		当山本堂	2月15日はお釈迦様がご入滅なさいました涅槃の日です。2月一杯本堂に涅槃図をおまつりします。
令和4年初めての早朝墓地清掃	3月20日(日)	午前7時おつとめ 午前7時半から清掃	当山本堂	まだ寒い時季とは思いますが、皆さんのご参加を心よりお待ちしております。
春彼岸法要	3月21日(月) 春分の日	午後1時半より	当山本堂	おつとめの後、信楽寺が元あった場所、安来市広瀬町の歴史資料館館長平原金造氏にお話をして頂きます。
聖徳太子 １４００年大祭	7月22日(金) ～25日(月)		聖徳太子堂	3頁に紹介しています、聖徳太子像50年に1度の秘仏ご開帳の年です。またとないご縁に是非お参り下さい。
聖徳太子1400年大祭おつとめ	7月22日(金)	午後6時	聖徳太子堂	
墓地一斉清掃	7月31日(日)	午前6時おつとめ 午前6時半墓地清掃	信楽寺墓地 松尾町墓地	次号つきかげにてご案内申し上げます。ご確認下さい。
棚　経	8月1日(月) ～15日(月)			是非今年は皆様のお宅にお参りしたいと思います。次号にてお参りの順番をご案内申し上げます。
盆施餓鬼法要	8月4日(木)	午前10時	当山本堂	次号つきかげにてご案内致します。
地蔵盆おつとめ	8月23日(火) ・24日(水)		竪町灘側 地蔵尊	
おてつぎ信行奉仕団 （本山参拝）	未　定	詳細は改めて案内しています。	総本山 知恩院	
秋彼岸供養・永代供養法要	9月23日(金) 秋分の日	午後1時半	当山本堂	
出雲教区詠唱大会	未　定			
出雲教区檀信徒大会	10月25日(火)	午後より	出雲市 大社町 「大社文化プレイスうらら館」	総本山知恩院おてつぎ運動の併修行事として、講演とクラリネットのアンサンブル演奏、ゲストとしてPaix(ペペ)のお2人に歌とお話をしてもらいます。
十　夜　法　要	11月3日(木) 文化の日	午前10時より	当山本堂	塔婆の申込みは、後日直接ご案内致します。
今年最後の墓地清掃・浄焚会	12月4日(日)	午前7時	本堂正面	浄焚会とは、捨てるに捨てられず困っているお守り・お札・お仏壇の道具類の魂を抜いて供養するおつとめです。お気軽にご相談下さい。

中止

どの行事にもお参り頂きたく思っております。どうぞご予定にお組み入れ下さい。

定例行事ご案内

＊御詠歌の練習＊
毎月第2・第4土曜日
午後1時半より
随時新会員募集中

＊墓地清掃＊
毎月第1日曜日早朝
(1・2月はお休みします。
今年初めての掃除は3月20日(日)です)

＊つきかげ会＊
毎月第2日曜日
午後1時半より

＊写経会＊
毎月22日
午後1時半より
千円の供養料が必要です

いずれの会も随時参加・見学歓迎しております。また、月によって日時・時間が多少変更する事がありますので、本堂前掲示板にてご確認下さい。



編集後記



私事で恐縮ですが、昨年十二月長女が信楽寺のご本尊様のみ前に於いて結婚しました。私が結婚式をして以来三十二年振りであります。

「え、お寺で結婚式」と不思議な顔をされる方も多いですが、お寺は葬儀・法事だけをする所ではなく、結婚式・七五三の慶事も決して珍しくありません。いずれも仏様の前で仏弟子（仏様のお弟子になる）として、明るく・正しく・仲よく生活をしていく為の誓いを、約束する大切な儀式なのです。

姉に続けとばかりに副住職も近いかもしれません。どうぞ皆様も慶事にお寺を利用下さい。結婚式も相談下さい。これからも挑戦する信楽寺であり続けたいと思います。